

CONTENTS

特集

令和5年食肉加工品の動向

窓

第101回 株式会社IMI（ボルミート）
代表取締役 タベルスキ・マイケル 「人生ってふしぎなものですね」

業界をめぐる動き

- ・「第45回食品産業優良企業等表彰式」の開催について
- ・3月役員会の開催について
- ・令和5年度 初級食肉加工技術講習会の修了報告について
- ・HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)の修了報告について
- ・令和5年度後期技能検定ハム・ソーセージ・ベーコン製造試験について
- ・令和5年度後期技能検定実技試験を終えて
- ・「第58回スーパーマーケットトレードショー2024」開催
- ・農林水産省 人事異動
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・食肉科研(KAKEN) コラム #103

ひろば

第96回 日本ウインナー株式会社

海外情報

チリ 23年の豚肉輸出量は3年ぶりに増加の見込み



内容をちょっと読み



SPECIAL
EDITION

特集

令和5年食肉加工品の動向

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合

令和5年食肉加工品に関する年間統計資料がまとまりましたので、お知らせいたします。

1. 生産量

令和5年の食肉加工品の合計生産量は、525,964.8トン(対前年比98.4%)となり前年に比べて減少(-8,520.7トン)しました。その内訳は、ハム類105,055.1トン(同97.1%)、ベーコン類91,552.0トン(同95.5%)、ソーセージ308,045.7トン(同99.4%)、プレスハム21,312.0トン(同102.7%)となりました。

1. 仕向肉量

令和5年の製品製造のための原料肉の仕向肉量は、407,529.1トン(対前年比93.0%)と減少しました。その内訳は、豚肉が336,256.8トン(同91.3%)、鶏肉が55,450.3トン(同104.3%)となっています。豚肉のうち国内物はおよそ2割弱を占めており、対前年比91.4%と昨年から減少しています。

一方、豚肉調製品に属するシーズンドボークも、117,919.1トン(同97.2%)と減少していますが、仕向食肉を含めた全体に占める割合は28.9%(前年27.7%)となりました。

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp